

ロボット支援下内視鏡手術に係る手術成績と術者の経験症例数について

- 令和2年度厚生労働省行政推進調査事業「公的医療保険における外科手術等の医療技術の評価及びその活用方法等に関する研究」において、直腸癌、胃癌及び食道癌に係るロボット支援下内視鏡手術における、手術成績と術者の経験症例数との関連について、2018年及び2019年に登録されたNational Clinical Database (NCD) を用いた検討が行われた。
- Clavien Dindo分類Ⅲa (CDⅢa) 以上の術後合併症を評価指標として検討を行ったところ、いずれの癌腫に対する手技についても、術者の経験症例数が基準値(胃癌・直腸癌では10症例、食道癌では5症例)以下の群とそれを超える群との間に有意な違いを示さなかった。

【対象術式】NCD消化器外科レジストリにおいて、
 登録術式が (直腸切断術 or 高位前方切除術 or 低位前方切除術)
 (食道切除再建術)
 (胃切除術 or 胃全摘術 or 噴門側胃切除術) かつロボット支援下内視鏡手術

	食道癌	胃癌	直腸癌
NCD登録症例数	1015件	4227件	4977件
基準値以下	462件	1986件	2335件
基準値より大	553件	2241件	2642件
術者数			
基準値以下	201人	366人	411人
基準値より大	46人	172人	148人
施設数	146施設	234施設	274施設
CDⅢa以上の合併症の発生			
基準値以下	100件 (21.7%)	102件 (5.1%)	176件 (7.5%)
基準値より大	110件 (19.9%)	111件 (5.0%)	247件 (9.4%)
粗オッズ比	1.08 (0.78-1.50)	0.95 (0.69-1.29)	0.75 (0.60-0.94)
調整オッズ比	1.07 (0.76-1.51)	1.03 (0.75-1.40)	0.81 (0.65-1.02)